

国際部会

外国人留学生とのスポーツ交流会

国8-国 佐伯 義昭



グループわの国際部会が平成17年度の事業の一環として、6月4日(土)午前10時、しあわせの村のローンボウルス場で、外国人留学生とスポーツ交流会を開いた。(財)兵庫県国際交流協会から市民レベルの国際交流活動の育成・奨励のための助成金が出ており、国際部会がその呼びかけに応じたものである。

競技種目はローンボウルスというニュースポーツを行った。留学生の参加は他の行事と重なったために少なく、スペイン、モンゴル、ブラジルの学生3名。それにグループわの生涯スポーツクラブ員10名、国際部会員12名、シルバーカレッジの在校生7名、計32名が8レーンで競った。

留学生たちが話す日本語も滑らかで、彼等にとって初めてのスポーツであったが、最初のデモンストレーションの説明も良く理解していた。

競技が始まると「オー」「キャッ」「ノー」とか、日本語で「ダメ」といって喜び、残念さを動作や大声で表し楽しんでた。青々とした芝生の上でみんな心地よい汗をかいだ。

先日、スペインの留学生からお礼のメールがきた。秋ごろに開催予定の2回目の競技に友達の留学生を連れて参加するとあった。

今回参加した留学生がスポーツを通して他国の若者と交流できたことは素晴らしい体験であったことだろうと思う。◆

須磨の歴史を勉強しています

園4-環 川島 清一

平成12年にカレッジを卒業して5年、卒業当初はグループわの一員としてカレッジで学んだ園芸の経験を生かしグループで高齢者家庭の庭木の剪定を行っていました。

70歳を過ぎると樹木の剪定などの肉体労働がだんだんと厳しくなり、15年末にグループを解散しました。その後有志が集まって、歴史の研究を始めました。グループわの会員、カレッジの学生、一般市民など25名で活動を始めてから2年あまりになります。

いろいろと須磨の歴史を勉強しているうちに、NHKの大河ドラマ「義経」の放映が決まり、それにあわせて観光客も増えてきました。我々も勉強の成果を試す折角の時

と須磨を訪れる観光客のガイドを行うことにしました。

鉢伏山から青く光る海を見下ろし、義経主従が辿ったであろう山道を皆さんと共に歩く。そして滅びの美学とも言える平家の歴史をガイドする。また、須磨寺における敦盛の青葉の笛を披露する。記憶力の衰えてきた我々にはなかなか難しいことですが、熱心に聴いて下さる皆様の姿に最近ではますます燃えてきております。グループわの皆さん、一緒に歴史の勉強をし、全国の皆様に須磨を案内しませんか。ボランティアとしてなかなか面白い仕事ですよ。

連絡先 〒654-0061

須磨区高尾台2丁目4-3

TEL 731-2337

季節の草花 ①

生8-文 久保 知彦

夏の花 アサガオ

「朝顔につるべ取られてもらい水」(加賀の千代女)など歌や句に詠まれているアサガオは、季語では秋の花で、熱帯アジア原産のヒルガオ科の植物である。

日本には奈良時代に薬草として、中国から伝来した。

江戸時代後期には観賞植物として急速に広まり、多くの改良品種が作られた。

現在では小学校の教材にも多く使われており、夏休み前ともなると、大事そうに鉢を抱えて家に向かう小学生の姿が見られる。

このアサガオも万葉集には「朝顔は 朝露負いて咲くといえど 夕影にこそ咲きまさりけれ」とあるが、実は現在のキキョウのことを

アサガオと呼んでいたようだ。

アサガオの仲間には、昼に咲くヒルガオ、サツマイモなどがある。かんぴょうの材料のユウガオはウリ科の植物で少し違う。

ところで、アサガオのつるは左巻きだが、南半球ではどうなるだろう。台風の渦巻きの方向が逆になるように、アサガオのつるも逆になるのだろうか。実際に見た人はいないのかなー。

